[マツダ] オイル劣化の集積値クリア(例:CX-5 KE2FW)

概要

「オイル劣化の集積値クリア」はエンジンオイルを交換した時に実施します。

操作

1.	『TPM-5 メニュー』画面から 〔特殊機能〕 を選択して [ENTER] を 押します。	Batt: 13.30 V TPM-5 メニュー シェー シェー シェー のBDII の の の の の の の の の の の の の
2.	『特殊機能』画面が表示されます。 【メンテナンスモード】 を選択して [ENTER]を押します。	Batt: 13.27 V 特殊機能 シンテナンスモード DPF エーミング 簡易バ ソテリーテスト ENTER : 選択 EXIT : 戻る
4.	『メンテナンスモード』の画面が表示されます。 「メーカー」を選択し「オイル関連交換」を 選択して [ENTER] を押します。	Batt: 13.30 V メンテナンスモート* トョタ ISSバッテリ交換 日産 オイル関連交換 ホンダ プレーキ関連交換 三菱 タイヤ交換 スズキ HV整備モード ダイハツ HVバッテリ マツダ スバル ENTER: 選択 EXIT: 戻る
5.	『車両確認』の画面が表示されます。 車検証やコーションプレート等で 対象車両である事を確認してから [ENTER] を押します。	Batt: 13.34 V 車両確認 以下の通りでいいですか 車 名: CX-5 VIN: KE2AW200001 Eng. Type: SKYACTIV-D 2.2 PCM: SH6P-18881-B ENTER: はい EXIT: いいえ

6.	『オイル関連交換』の画面が表示されます。 <mark>〔エンジンオイル〕</mark> を選択して[ENTER]を 押します。	Batt: 13.27V オイル関連交換 エンジンオイル AT/CVT フルード ENTER:選択 EXIT:戻る
7.	『エンジンオイル』の画面が表示されます。 ※ 注意点を必ずお読みください。	Batt: 13.34 V エンジンオイル 注意点 作業サポート ENTER:選択 EXIT:戻る
8.	『注意点』が表示されます。 ※必ずご確認下さい。	Batt: 13.27 V 注意点 - エンジンオイル交換後は、必ず 「オイル劣化の集積値リセット」 を実施してください。 - 「故障コードの読取」でエンジンオイル劣化の故障コー ドを検出してオイル交換したときは、「オイル劣化の集積 値リセット」後に「故障コードの消去」を行ってください 。 ENTER/EXIT:終了
9.	『エンジンオイル』の画面が表示されます。 〔作業サポート〕 を選択して [ENTER] を 押します。	Batt: 13.28 V エンジンオイル 注意点 作業サポート ENTER:選択 EXIT:戻る
10.	続いて、 <mark>〔オイル劣化の集積値リセット〕</mark> を選択して [ENTER] を押します。	Batt: 13.27 V エンジンオイル 故障コードの読取 オイル温度、圧、距離 オイル劣化の集積値リセット 故障コードの消去 ENTER:選択 EXIT:戻る

11.	『オイル劣化の集積値リセット』の画面が 表示されます。〔注意〕を確認してから [ENTER]を押します。	Batt: 13.33V オイル劣化の集積値リセット エンジンオイル劣化の集積値をリセットします。 [注意] 実行する前に、エンジンオイルを交換してください。 ENTER:実行 EXIT:中止
12.	『作業が成功しました』が表示されます。 イグニッションスイッチを OFF にしてから [ENTER] を押します。	Balt: 13.27 V オイル劣化の集積値リセット 作業が成功しました イグニッションスイッチをOFFにしてください ENTER:次へ
13.	20 秒間待ってからイグニッションスイッチを ON にして下さい。	Batt: 13.27 V オイル劣化の集積値リセット 後処理中 そのまま、20 秒間お待ちください 40%
<mark>エラー</mark> 正常に完了しない場合は、 右のエラー画面が表示されます。		ERROR 通信が確立出来ません! ユニットが装備されていないか、 ソフトが対応していません EXIT: 戻る